

県内商工会の地域貢献事業紹介

二ツ井町商工会(県北地区)

事業名 少子化対策事業「きみまち阪 大冒険!巨大すごろくやりまっしょい!」

1 事業の内容

青年部では次世代を担う子供たちに、将来大人になって故郷を思い出してもらおうきっかけづくりにと、ゲームの「ドラゴンクエスト」のような大冒険を当地域の景勝地である「県立自然さきまち阪」を舞台に企画・実施しました。

第1ステージ	きみまち阪大冒険(トレッキング)
第2ステージ	巨大すごろく
第3ステージ	流し恋文さくらうどん



流し恋文さくらうどん



特に第2ステージの「巨大すごろく」の問題作成は、ふるさと教育の観点から地域の問題、アニメまで幅広いジャンルの問題を部員自ら作成しました。

2 事業の効果

能代市内の小学校のみの募集でしたが、子供30名大人15名の参加者を得ることができました。本事業を通じて、子育て世代の当事者である青年部員が、このような機会をつくることは大変意義深いと感じています。

マスクミヤや行政の評判も良く、当青年部の存在価値を地域の方に再認識してもらおう機会になり、来年度も継続して開催する予定です。

由利本荘市商工会(中央地区)

事業名 ゆり・前郷^{まち}地域めぐりマップ作成～ゆり・前郷を旅しよう～

1 事業の内容

フットパスとして由利本荘市の由利地域内を気軽に歩いていただけるように、また、駅からの交流人口の増加を図ることを目的として、地域めぐりマップを作成しました。

商工会員事業所に加え、駅前周辺の見どころと前郷地区の大日(前郷)神楽や国指定有形文化財の佐々木邸などの伝統文化・史跡を併せてイラストと写真で紹介した盛り沢山の内容です。



江戸・慶長7年(1602)由利地方を領した山形城主・最上氏の家老職・滝沢氏のお城「滝沢城」があった前郷。江戸初期には城下町としての役割をおえていながら、当時の町割りはそのままで、武家屋敷こそないものの、城下町の面影を感じることが出来ます。

今後の展開としては、H26年度・鮎川地区、H27年度・西滝沢地区でのマップ作成を予定しており、3地区のマップ作成により川日由利町全体の地域めぐりマップが完成いたします。

2 事業の効果

羽後本荘駅を始め市内各関係機関へ設置し周知PRを行い、今年6月には国民文化祭由利本荘市のフットパス開催時に参加者(約60名)へ配布し、県内外への誘客及びPRを図りました。

ゆざわ小町商工会(県南地区)

事業名 「^{うた}の街^{まち}ゆざわ2014」

1 事業の内容

ゆざわ小町商工会女性部では、「女性の力」で地域の魅力を発信しながら「地域を元気づける」ことを目的に、「詩の街ゆざわ」事業を継続して三年目となりました。

一年目はゆるキャラ「ふかくん」の製作、二年目は「おもてなし吟行プラン」など、新しいお土産(お菓子)の開発も組み入れ、交流人口の増加と消費拡大を目指してきました。この活動が昨年度、全国商工会女性部連合会「まち(地域)づくり顕彰」の受賞につながりました。

三年目の今回、第一弾として6月に実施した「おもてなし吟行プラン」参加者は前回は大きく上回り32名。「川連漆器蒔絵体験」や女性部員のおもてなしについても好評をいただき、無事終了することができました。

そして第二弾、当地に語り継がれる「小野小町」から地域の魅力を発信するため企画した「詩の街ゆざわ2014」短歌会(10月25日開催)は、全国から2,459首の応募をいただきました。



参加者32名!湯沢駅前での出発



好評だった蒔絵体験

2 事業の効果

「おもてなし吟行プラン」参加者アンケート結果から、この事業の目標の一つである伝統産業とのふれあいにより、外部からの観光客の増加とリピーターの確保につながることができたと部員一同喜んでおります。

今後も、地域の魅力発信、交流人口の増加、消費拡大に貢献することを目指してまいります。